

山本かずひと



本会議一般質問に登壇



先月より始めました文京区議会定例会も、今月は新年度予算が審議される予算審査特別委員会の集中審議が主な議会日程となります。過去最高額を更新した令和7年度一般会計予算1,470億円を、今回は会派を代表する予算委員会のメンバーとして、費用対効果の視点に立ってしっかりチェックして参りたいと存じます。質疑の詳細に関しては、来月号でご報告させていただきますので宜しくお願い致します。写真は、会派を代表しての本会議一般質問です。正副議長を除く32人が、年に一度登壇して執行機関に質問をする、議員にとっては最大の論戦場となります。今月の区政報告は、その質疑の内容について主なものを以下5項目についてご報告させていただきます。

1, 令和7年新年度予算について

<質問>過去最大となった予算の主な要因について問う

<答弁>歳入においては、根幹を成す特別区税の約434億700万円や特別区交付金の277億円（見込み）が、何れも過去最高額を更新すると共に、国や都の支出金も30%増となり、よって歳出においても、58事業の重点施策を中心に物価高騰対策に要する経費や扶助費及び人件費等の義務的経費を計上した結果、過去最大規模となる当初予算案となりました。

2, 若者支援について

<質問>若者約7万人に対するアンケート調査結果を踏まえた今後の若者施策の推進について問う

<答弁>今回のアンケート調査を経て、次年度は若者当事者からご意見を伺う取組みを実施し、調査の回答結果と合わせて若者施策の更なる推進を図るべく、（仮称）若者計画を策定します。

3, 災害関連死対策について

<質問>災害関連死による災害弔慰金の支給について問う

<答弁>昨今の各地で発生している大規模災害の状況に鑑み、本区としても新たに「文京区災害弔慰金等支給審査会」を設置し、有事における被災者への迅速な支援を可能として参ります。

4, 竹早公園・小石川図書館の一体的整備について

<質問>立場の違う様々な意見の合意形成をどのように図っていくか問う

<答弁>これまで頂いたご意見やご要望また課題等には、更に十分な調査や検証を行った上で、より丁寧な説明が必要であると考え、3月に予定していた区民ミーティングは一旦見送ることとし、課題等については改めて整理して参ります。

<所見>私個人的には、図書館単体の改修では建築規模が小さくなりますが、敷地を公園と一筆にすることで現状より大規模の図書館が建てられることは、それだけでもメリットがあると考えますし、現状ある図書館、テニスコート、公園の何処かを削って何処かを増やすという議論には到底なり得ない話だと考えております。

5, 中小企業振興条例の制定について

<質問>各自治体で実施されている中小企業振興基本条例の制定について問う

<答弁>本区では、産業振興を図るための各種事業を「文の京」総合戦略で計画化し、中小企業の振興に関する施策を推進しております。区として、中小企業振興基本条例を制定する考えはありませんが、いわゆる理念条例を議会主導で条例制定することを妨げるものではありません。